

「振とう培養器 BR-21,22,23 FP 及び BR-41,42,43 FL シリーズのプログラム設定について」



設定できるプログラム動作は3種類です。

- ・プログラム終了後、最終設定の状態でも継続運転をする 「Cont」モード
- ・プログラム終了後、温度調節と振とうを停止させる 「End」モード
- ・プログラム終了後、設定しているプログラムを繰り返す「rPEt」モード

(※:加温専用のFM及びFHタイプは冷却設定動作のプログラムには対応できません)

プログラム運転は通常モードで「RUN/STOP」キーを1秒以上、長押しすることで開始します。
プログラム運転を中断する時は「ESC」キーを長押しすることで終了します。

- プログラムの設定例 : 37°C設定で振とう速度は120rpm,18時間後に4°C設定に移行して振とうは停止
そのまま4°Cの温度を維持する。

STEP1	「PROG.」キーを押し、プログラム表示を「1」に「SELECT」キーを押し、温度を入力(37.0)し、「ENTER」キーで確定。 「SELECT」キーを押し、速度設定を入力(120)して「ENTER」キーで確定。 「SELECT」キーを押し、時間を入力(18.00)「ENTER」キーで確定。
STEP2	「PROG.」キーを押し、プログラム表示を「2」に「SELECT」キーを押し、温度を入力(4.0)し、「ENTER」キーで確定。 「SELECT」キーを押し、速度設定を入力(0)して「ENTER」キーで確定。 「SELECT」キーを押し、時間を入力(1.00)「ENTER」キーで確定。
STEP3	「PROG.」キーを押し、プログラム表示を「3」にしてから、「PROG.END.」キーを押し、プログラム表示を「E」にして温度の表示を「END」から▽キーで「Cont」表示にします。「ENTER」キーで確定をして下さい。

「PROG.」キーを押し、プログラム表示を消灯させて(通常モードへ)から「RUN/STOP」キーを1秒以上押し、プログラム動作を開始します。
プログラムが終了したら「PEnd」表示と温度表示が交互に切り替わり、表示されます。

- プログラムの設定例 : 37°C設定で振とう速度は 120rpm, 10 時間後に 25°C設定に移行して振とう速度は 60rpm に変更し、5 時間後にプログラム動作を繰り返す。

STEP1	「PROG.」キーを押し、プログラム表示を「1」に「SELECT」キーを押し、温度を入力(37.0)し、「ENTER」キーで確定。 「SELECT」キーを押し、速度設定を入力(120)して「ENTER」キーで確定。 「SELECT」キーを押し、時間を入力(10.00)「ENTER」キーで確定。
STEP2	「PROG.」キーを押し、プログラム表示を「2」に「SELECT」キーを押し、温度を入力(25.0)し、「ENTER」キーで確定。 「SELECT」キーを押し、速度設定を入力(60)して「ENTER」キーで確定。 「SELECT」キーを押し、時間を入力(5.00)「ENTER」キーで確定。
STEP3	「PROG.」キーを押し、プログラム表示を「3」にしてから、「PROG.END.」キーを押し、プログラム表示を「E」にして温度の表示を「END」から△キーで「rPEt」表示にします。「ENTER」キーで確定をして下さい。

「PROG.」キーを押し、プログラム表示を消灯させて(通常モードへ)から「RUN/STOP」キーを1秒以上押し、プログラム動作を開始します。

■ プログラムの設定上の注意

プログラムの1セグメントは「温度」、「振とう速度」、「動作時間」で1セットとなります。設定数は最後に「E」を追加した9セグメントの入力までの対応となります。温度と速度設定は本体の電源を入れて、温度等が安定してからプログラムをスタートして下さい。

プログラムの入力に時間がかかり、表示が通常に戻ってしまった時は「PROG.」キーを押し、最後まで入力を完了させて下さい。

入力されているプログラムをリセットする場合は、プログラム運転では無い通常モードで「ESC」キーを長押しして下さい。「PRO off」の表示が出ればリセット完了です。

振とう停止から始まるプログラムのスタートでも振とうスイッチは「ON」にしておいて下さい。

■ 機器の仕様についての注意

プログラムでの冷却温度の設定はFPでは室温-10°C(15°C)までの設定にしか対応しておりません。それ以上の冷却が必要な場合は中型のFLタイプでの機種でのみの対応となります。

また、プログラム移行時の温度が安定するまでのウェイト機能はありませんので、温度変更での安定時間を加味して設定する事を推奨します。

現行シリーズでも10年以上前に生産をされた製品では、「rPEt」モードを搭載していない製品もございますのでご了承下さい。